

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	現代社会とことば	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】主に時事問題を題材にして、読解力を高め、関連する知識を増やし、考察し、自分の意見が発表できることを目標とする。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 現代社会における注目の時事問題に関する知識を得る。 2. 文章表現、構造を学び、大学生にふさわしい読解力を身につける。 3. 付加情報について収集し、考察し、大学生にふさわしい自分の感想、意見を持つことができる。	○				○			○	○	○	○	1	1	3	113
総合科目	日本国憲法 I	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解することを通じて、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を修得させる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解し、この原理が具体的な統治構造にどのように反映されているかを把握できる。 2. 政治運営のなかで生じる人権問題の解決法について、事例をあげつつ説明できる。	○				○			○	○	○	○	1	1	2	112
総合科目	日本国憲法 II	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】憲法の根底にある基本原理を理解することを通じて、人権感覚を練磨し、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を修得させる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 統治機構の運営上生じる憲法問題を正確に理解できる。 2. 重要な憲法裁判例の事実関係およびそこにおける憲法上の争点を把握したうえで、国家行為の合憲性について推論し、結論に至るまでの論理を説明できる。	○				○			○	○	○	○	1	1	3	113
総合科目	政治学 I	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】高等教育を受けた社会人として持つべき教養の一つとして、アジアの近代史(19世紀半ばから1920年代)について学び、現在の日本をとりまく国際情勢を理解する歴史的基礎を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 講義でとりあげた史実にかかわる基本的な知識を理解する。 2. 歴史分析の方法について、その概略を理解し歴史を観る眼を鍛練すること。具体的には講義で扱った歴史事象について、資料を用いて、自分の言葉で説明できるようになる。	○				○			○	○	○	○	1	2	2	122
総合科目	政治学 II	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】高等教育を受けた社会人として持つべき教養の一つとして、アジアの近代史(19世紀半ばから1920年代)について学び、現在の日本をとりまく国際情勢を理解する歴史的基礎を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 講義でとりあげた史実にかかわる基本的な知識を理解する。 2. 歴史分析の方法について、その概略を理解し歴史を観る眼を鍛練すること。具体的には講義で扱った歴史事象について、資料を用いて、自分の言葉で説明できるようになる。	○				○			○	○	○	○	1	2	3	123
総合科目	社会学 I	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】日本の公的年金と公的医療制度の概要を知る。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、専門分野の研究をより広い視野から進めるため、現代の日本がどのような問題を抱えているのかについて理解を深め、具体的に説明できるようになる。	○				○			○	○	○	○	1	2	2	122
総合科目	社会学 II	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】日本の財政問題の概要を把握する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、専門分野の研究をより広い視野から進めるため、現代の日本がどのような問題を抱えているのかについて理解を深め、具体的に説明できるようになる。	○				○			○	○	○	○	1	2	3	123
総合科目	経済学 I	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】経済学の基本的思考を身に付けて、経済の事情を見る目を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 私たちの生活との関連が深い経済の課題を理解する。 2. 経済の仕組みや流れを把握し、日本経済および国際経済についての経済学的な枠組みでその見方や考え方ができるようになる。	○				○			○	○	○	○	1	2	2	122
総合科目	経済学 II	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】経済的な思考法の基に、貿易あるいは為替レートと経済の事情を理解し、現代的課題を考えることをめざす。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 私たちの生活との関連が深い経済の課題を理解する。 2. 経済の仕組みや流れを把握し、日本経済および国際経済についての経済学的な枠組みでその見方や考え方ができるようになる。	○				○			○	○	○	○	1	2	3	123

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計		
総合科目	人権論Ⅰ	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】人権保障の根底にある価値理念を理解することを通じて、人権感覚、規範意識を修得させる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 人権保障の根底にある価値理念を理解できる。 2. 上記価値理念が個別具体的事案においてどのように実現されているか、または実現されるべきかを、対立する諸見解をふまえて説明できる。	○				○				○			1	1	2	112	
総合科目	人権論Ⅱ	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】人権保障の根底にある価値理念を理解することを通じて、人権感覚、規範意識を修得させる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 人権保障の根底にある価値理念を理解できる。 2. 上記価値理念が個別具体的事案においてどのように実現されているか、または実現されるべきかを、対立する諸見解をふまえて説明できる。	○				○				○			1	1	3	113	
総合科目	東広島学	1～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】東広島市の郷土の宝、歴史やまちづくりについて学び、さらに、本科目にあるフィールドワークを通じて社会活動の重要性や地域貢献の必要性について学ぶ。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 東広島地域の歴史・現在と将来計画について理解し、現在、本市が抱えている問題・本市が進もうとしている方向、本市の有する資産、産業、福祉、教育、文化等幅広く学習する。 2. 各学科で行う専門教育の基礎的な知識・考え方を身につける。	○				○				○			1	1	3	113	
総合科目	地域開発論	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】我が国の各分野の将来計画を理解し、自分が歩む方向性並びに技術者としての考慮すべき点を理解させる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、地域開発や地域計画の役割、必要性を理解する上での全体的な知識や理解する能力を身につけることができる。			○									1	2	2	122	
総合科目	地学Ⅰ	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】地球科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 地球科学に関する地学の一通りの知識を獲得する。 2. 地学用語の正しい理解と説明ができる。 3. 地学の基本問題が正しく解け、説明できる。			○										1	2	2	112
総合科目	地学Ⅱ	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】気象と宇宙科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 気象と宇宙科学に関する地学の一通りの知識を獲得する。 2. 地学用語の正しい理解と説明ができる。 3. 地学の基本問題が正しく解け、説明できる。			○										1	2	3	113
総合科目	化学	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】環境問題における化学物質の役割を理解し、生物と共存する方策を理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 化学物質が現代生活で大きな役割を果たしていること、その一方である種の化学物質が地球規模の環境破壊を引き起こす危険性があることが理解できる。 2. どのような物質が何のために、どのように使用され、生物にどのような影響を及ぼしているか、また化学の法則がどのような関わり方をしているか理解し、地球環境保全への意識を高める。			○										1	2	2	122
総合科目	生物学Ⅰ	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】生物学の基礎を学び、身近な生命現象を理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 生物学の基礎を学ぶ 2. 身近な生命現象を知り理解すること 3. 生命と環境との相関について思考し、説明できる基礎を身につけること			○									1	2	2	122	
総合科目	生物学Ⅱ	2～4年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】生物学の基礎を学び、最先端のバイオテクノロジーを理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 細胞の構造と機能の基礎となる物質とその変換および遺伝子的基盤について説明できる。 2. 遺伝子操作、遺伝子解析の方法とその社会的な影響についても説明できる。			○									1	2	3	123	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計		
総合科目	エネルギー科学Ⅰ	2～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】工学部の学生として、地球温暖化問題・エネルギー問題の核心はなにか、期待されている様々な新エネルギーやクリーンエネルギーシステムとはなにかを、その基礎となる科学・工学とともに学ぶことにより、上記問題への対応を考えることができる基礎を学習する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 新エネルギーやクリーンエネルギーシステムが必要な時代背景を科学的に正しく理解する。</p> <p>2. 現在のエネルギー技術開発がどのような目的・目標で実施されているか、またその技術を支える基礎工学を理解する。</p> <p>3. これからの低炭素社会に求められる技術は何かを考える能力を養う。</p>			○									1	2	2	122	
総合科目	エネルギー科学Ⅱ	2～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】工学部の学生として、まず地球環境問題・エネルギー問題を科学的に理解しつつ、現在から将来に向かって期待されている先進的な新エネルギー・省エネルギー技術、またそれらを駆使したクリーンエネルギーシステムをその基礎となる科学・工学とともに学ぶことにより、上記問題への対応やこれからの産業との深い関わりを考えることができる基礎を学習する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 新エネルギーやクリーンエネルギーシステムに必要な背景を科学的に正しく理解する。</p> <p>2. 現在のエネルギー技術開発がどのような目的・目標で実施されているか、またその技術を支える基礎工学を理解する。</p> <p>3. 低炭素社会に必要な技術は何かを考える能力を養う。</p>			○									1	2	3	123	
総合科目	情報科学	2～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】コンピュータ科学におけるハードウェアとソフトウェアについて学び、データを収集・蓄積し、計算・解析し、加工してそこから新たな意味を導き出す方法、情報処理における概念や技術の基礎を学習すること。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. コンピュータの構成と5大機能を理解すること。</p> <p>2. コンピュータの基礎となる、数の取り扱いなどデータ表現を理解すること。</p> <p>3. 情報処理システムと情報システムの基礎を理解すること。</p>			○									1	2	3	123	
総合科目	物理学の方法	1～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】課題を見つけ、それを解決する科学的方法を学習する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. カオスとは何か説明できる。</p> <p>2. 身近なカオス現象を例示することができる。</p> <p>3. フラクタルとは何か説明できる。</p> <p>4. 身近なフラクタル図形を挙げるができる。</p> <p>5. 複雑系を例示することができる。</p>			○									1	1	3	113	
総合科目	技術のフロンティア	1～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】科学技術が社会に与えるインパクトに対して、技術者に必要な、問題の探索・提起及び問題解決に関わるコミュニケーション能力を形成する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. ディベート演習論題を環境、情報、エネルギー等の分野から設定することで、取上げた分野における見識を深めることができる。</p> <p>2. 与えられた論題に関する追加情報・資料・データを自ら収集し、分析することができる。</p> <p>3. 分析結果を総合し、論題について肯定・否定の立場から自分の意見を論理的に構成することができる。</p> <p>4. 論理的に構成した自分の意見を議論・討論の場で主張することができる。</p> <p>5. 議論・討論の内容を肯定・否定の両面から客観的に評価することができる。</p> <p>6. 上記プロセス体験を重ねることにより、新たな問題の発掘と解決策の提案能力の育成へ発展させる。</p>			○									1	1	2	112	
総合科目	物理学実験	2～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】実験はやり方だけ読んで、データを取って、数値を公式へ代入して結果を得て、レポートを作ることもできるが、この学習では、初めに、実験の教科書をしっかりと読み、実験の根拠となっている理論を理解した上で測定する習慣を身につける。又、得られたデータが合理的な値かどうか常に検討し考察する習慣を身につける。データ処理は実験学の誤差論に基づいて行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1) 実験に使用する装置や器具についての基礎的な知識を持つことができる。</p> <p>2) 実験データを合理的に処理でき、結果を吟味し、考察を加えることができる。</p>			○										1	2	2	122

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計
					【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICテストの問題形式に慣れ、的確に問題に対応できるようになる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察する力を養う。	○									○	1	1	4	114
外国語科目	英語B II	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。 3. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて、全体的なトピックが把握できる。 4. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて必要な情報を聞き取り平易な質問に答えることができる。 5. 継続的に自学自習する習慣を身につける。 6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の1つの指標とし、300点を到達目標とする。	○									○	1	1	5	115
外国語科目	英語C I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、400点を到達することができるようになる。	○									○	1	2	4	124
外国語科目	英語C II	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、400点を到達することができるようになる。	○									○	1	2	5	125
外国語科目	英語D I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける 2. 基礎的な語彙力を身につける 3. 基礎的な文法力を身につける	○									○	1	2	4	124
外国語科目	英語D II	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける 2. 基礎的な語彙力を身につける 3. 基礎的な文法力を身につける	○									○	1	2	5	125
外国語科目	英語応用 I	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、TOEICのスコアを英語運用能力の一つの指標とし、450点を目標とすることができる。	○									○	1	3	4	134
外国語科目	英語応用 II	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、TOEICのスコアを英語運用能力の一つの指標とし、450点を目標とすることができる。	○									○	1	3	5	135
外国語科目	英会話基礎 I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む、実践的コミュニケーションのための英語運用能力を習得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを習得した上で、感情的要素も含めた英語コミュニケーションに関わる各種パフォーマンススキルを体得する。	○									○	1	2	4	124

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計	
外国語科目	英会話基礎Ⅱ	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む、実践的コミュニケーションのための英語運用能力を習得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを習得した上で、感情的要素も含めた英語コミュニケーションに関わる各種パフォーマンススキルを体得する。	○									○		1	2	5	125
外国語科目	英会話応用Ⅰ	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で習得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを習得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を習得できる。	○									○		1	3	4	134
外国語科目	英会話応用Ⅱ	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で習得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを習得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を習得できる。	○									○		1	3	5	135
外国語科目	ドイツ語基本Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】文法の規則性に気付く。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 教材のドイツ語文が正しい発音で読める。 2. 英語とドイツ語の文法構造が比較・検討できる。 3. 辞書の引き方、表記法が分かる。	○									○		1	1	6	116
外国語科目	ドイツ語基本Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】文法の規則性に気付く。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 教材のドイツ語文が正しい発音で読める。 2. 英語とドイツ語の文法構造が比較・検討できる。 3. 挨拶など、日常会話における簡単な表現が言える。	○									○		1	1	7	117
外国語科目	ドイツ語中級Ⅰ	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】ドイツ語の基礎学力を身に付けて、中級的テキストを理解できるようになること。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストのドイツ語文が耳で理解できる。 2. テキストで学んだ日常表現が口で言える。 3. 「ドイツ語技能検定試験」(4級)レベルの語意が分かる。	○									○		1	2	6	126
外国語科目	ドイツ語中級Ⅱ	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】ドイツ語の基礎学力を身に付けて、中級的テキストを理解できるようになること。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストのドイツ語文が耳で理解できる。 2. テキストで学んだ日常表現が口で言える。 3. 「ドイツ語技能検定試験」(4級)の問題が解ける。	○									○		1	2	7	127
外国語科目	フランス語基本Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の基本的な読み方、発音を習得する。 2. 基本的な日常会話を身に着ける。	○									○		1	1	6	116
外国語科目	フランス語基本Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の基本的な読み方、発音を習得する。 2. 基本的な日常会話を身に着ける。 3. 文法・語彙習得範囲は実用フランス語技能検定試験5級までとする。	○									○		1	1	7	117

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計		
					【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 接線や関数の極値・最大値・最小値を求めることができる。 2. 初等関数のマクローリン展開を求めることができる。 3. 曲線や直線で囲まれた面積を求めることができる。 4. 回転体の体積を求めることができる。 5. 重積分により立体の体積を求めることができる。				○									3	1	2	312
専門科目	線形代数学Ⅰ	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】ベクトルや行列に関する様々な演算を正確かつ迅速に行うことができる。更に、行列の応用として連立方程式を正確かつ迅速に解くことができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. ベクトルと行列の基本的な計算ができる。 2. 行列式を求めることができる。 3. 逆行列を求めることができる。 4. 連立1次方程式を解くことができる。				○									3	1	1	311
専門科目	線形代数学Ⅱ	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】2次・3次正方行列の固有値・固有ベクトルを求めることができる。また、それらの知識を具体的な問題に応用することができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 行列の階数と連立1次方程式の解を求めることができる。 2. 固有値・固有ベクトルを求めることができる。 3. 行列の対角化ができる。 4. 空間における直線・平面の方程式を求めることができる。 5. 1次変換の行列を求めることができる。				○				○					3	1	2	312
専門科目	建築基礎数学	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 建築学の分野の中にでてくる自然現象や社会現象は数式で表わすことができる。このような数理法則を分析するために必要な数学の基礎が理解できる。													3	2	3	323
専門科目	建築応用数学	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 建築学の分野における数理統計並びに数理計画の手法を修得し、具体的な現実の問題を解くことができる。													3	2	4	324
専門科目	応用物理学	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 質点力学を中心に力学の基礎的事項を理解できる。 2. 熱学の内から熱力学第1法則の範囲内で基本的な事柄を理解できる。				○		○	○						3	1	1	311
専門科目	電算機基礎演習	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 工学部生として知っておくべきパソコンリテラシーの基礎知識、および他の授業や卒業研究などで利用頻度の高い各種アプリケーション(Word、Excel、Power Point)が使用できる。				○									3	1	1	311
専門科目	建築プログラミング	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 建築実務で最もよく利用されている表計算ソフトExcelのプログラミング機能(Excel VBA)を利用して、プログラミングの基礎、ベクトル・マトリクス演算、データ処理、プログラムのソフト化などができる。				○	○								3	1	2	312
専門科目	造形演習	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。													3	1	1	311

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計
					【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.古代・中世・近世までの寺院・神社、住宅、都市などの日本の伝統建築がもつ空間意匠と思想、構造的性質、歴史的発展の経緯を知ることができる。 2.21世紀の建築設計やまちづくり、歴史的建造物の保存再生などに役立つ洞察力を身につける。								○			3	2	1	321
専門科目	居住環境学	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.自然要素が持つ性質を建築的に利用して、快適な室内空間を形成するパッシブデザインの原理を理解できる。								◎			3	1	1	311
専門科目	熱環境・同演習	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築環境計画と建築設備設計に必要とされる熱環境の形成理論が理解できる。 2.建築伝熱、換気計画、結露防止など、建築設備設計のみでなく、建築計画・設計にも役立つ知識を修得できる。								◎			3	2	2	322
専門科目	光音環境・同演習	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.昼光照明、人工照明、室内音響および騒音防止に関する基礎を理解し、室内の光環境計画と音響環境計画に役立つ基本知識を修得できる。								◎			3	2	3	323
専門科目	静定力学・同演習	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.部材断面に働く応力の意味を理解できる。 2.力の釣り合い方程式を用いて、静定構造物の応力の計算方法が理解できる。			◎	◎							3	1	1	311
専門科目	材料力学・同演習	1年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.応力-応力度-ひずみ(変形)-変位の関係が理解できる。 2.部材断面の断面定数の計算と断面に生じる最大応力度の計算ができる。 3.許容応力度設計の基礎的概念が理解できる。			◎	◎							3	1	2	312
専門科目	建築構造学	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 体験的学習からの具体的な課題解決能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.構造模型を設計・制作することで、建築構造の仕組みを体験的に理解できる。 2.Excel構造解析ソフトにより制作課題の構造計算を行うことで、構造設計の概略を体験的に理解できる。 3.グループで設計・制作することで、チームワークの大切さを理解できる。			◎					◎	◎	3	2	1	321	
専門科目	構造設計学	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築物に作用する鉛直荷重や水平荷重の種類と算定方法や、はり柱の設計条件及び実際のはりの仕組みを理解できる。 2.耐震設計の基本が理解できる。			◎	○	○						3	2	2	322
専門科目	建築構造材料	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築物の構造材料となる木材・コンクリートの組成・性質について理解できる。 2.それらの材料と施工・構造との関連について理解できる。								◎			3	1	1	311

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計	
専門科目	建築仕上材料	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.現代の建築物は使用される材料の防水性や断熱性、防火性、吸音性など性能や機能を理解できる。 2.それらの材料と建築構法との関連が理解できる。</p>		○			○	◎	○					3	2	2	322
専門科目	建築施工	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.各種工事の具体的な施工法や使用について理解できる。 2.建築施工と材料・構造・力学・法規との関連について理解できる。</p>					◎	◎						3	2	3	323
専門科目	施工管理	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.工程計画や安全管理、品質管理を基本とした建設業の管理技術について理解できる。 2.維持管理や耐久性・耐震診断など建築物が完成した後の管理について理解できる。</p>					◎	◎						3	2	3	323
専門科目	都市論	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 地域社会や地域環境の改善に貢献できる正しい課題発見能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.都市の持っている基本的な性格と機能、立地条件、構造などを理解できる。 2.古典的な都市問題と現代的な都市問題をふまえ、都市について総合的に考えることができる。</p>		○							◎			3	2	1	321
専門科目	都市計画	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】地域社会や地域環境の改善に貢献できる正しい課題発見能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.都市計画・都市設計の基礎的知識(概念・理念・法律・重要語句等)を理解できる。 2.現行の都市計画のテクニックや制度を理解できる。 3.都市環境、都市景観、都市防災、将来の国際化、高度情報化、高齢化への対応した都市計画の考え方を理解できる。</p>									◎			3	3	1	331
専門科目	建築防災	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 地域社会や地域環境の改善に貢献できる正しい課題発見能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築およびその集団である都市の災害に関する被害の軽減策、防災対策および避難等についての基礎知識を得ることができる。</p>					◎		○	◎				3	3	4	334
専門科目	建築論	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 地域社会や地域環境の改善に貢献できる正しい課題発見能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築学科が目標とする技術者像と卒業までに身につけるべき知識・能力(学習・教育到達目標)が理解できる。 2.技術者倫理の必要性を理解し、自らが目標とする技術者像を明確化できる。</p>		◎			◎		◎	◎				3	1	1	311

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	建築構法	1年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築の主体構造別および主要部位別にどのような考え方、どのようなしくみで建築物に構成されているかを理解できる。		◎	◎			○						3	1	1	311	
専門科目	建築法規	2年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 地域社会や地域環境の改善に貢献できる正しい課題発見能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.一般法令の中でも難解とされている建築基準法の技術基準を中心に、その意図するところ、規定すべき方法を理解できる。		○				○		◎				3	2	1	321	
専門科目	測量学・同演習	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.測量学の基本的な知識および数値的・図形的表現方法について学習し、演習を通してその意味、意義を体得する。 2.測量士、測量士補資格に必要な基本的知識を身につける。										○			3	2	1	321
専門科目	建築CAD演習	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.CAD (Computer Aided Design) の基本的操作を体得し、建築図面を作成することができる。			◎										4	3	2	432
専門科目	建築CG演習	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 体験的学習からの具体的な課題解決能力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.CAD (Computer Aided Design) の応用およびCG (Computer Graphic) 技法を修得し、透視図(パース)を作成することができる。		○									◎		4	3	3	433
専門科目	建築設計演習Ⅱ	3年次	4単位	必修科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.与えられた条件、所定の機能を満足するよう種々の問題を解決できる。 2.アイデアを建築の造形へと結びつけ、それをいかに適切に表現できる。		◎	○								◎		4	3	3	433
専門科目	建築設計演習Ⅲ	3年次	4単位	必修科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.自主的なテーマを設定し、必要な資料の収集、文献や事例の研究、与条件の分析などができる。 2.それを元に企画提案、基本構想、基本設計ができる。			◎								◎		4	3	4	434
専門科目	建築設計・集中演習Ⅰ	3年次	1単位	必修科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.グループ内の議論を建築の造形へと結びつけ、限られた時間内に建物の設計にまとめることができる。		◎	○								◎		4	3	3	433
専門科目	建築設計・集中演習Ⅱ	3年次	1単位	必修科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 2.グループ内の英語による議論を建築の造形へと結びつけ、限られた時間内に建物の設計にまとめて行くことができる。			◎								◎		4	3	4	434
専門科目	建築デザイン論	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザイン能力を身につける。		○											4	2	2	422

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計	
専門科目	鉄筋コンクリート構造・同演習	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.①鉄筋コンクリート(RC)構造の特徴と原理、②RCはりの曲げと断面算定、③RC柱の断面算定、④RCはりのせん断設計、⑤RC床スラブの断面算定、⑥RC耐震壁の設計に関して、基本的な知識や断面算定の知識を習得できる。</p>			◎									4	3	5	435
専門科目	鋼構造・同演習	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.許容応力度設計法による鋼構造部材の断面設計や接合部設計の仕組みが理解できる。 2.簡単な部材や接合部を実際に構造設計する能力が身につく。 3.鋼構造の部材等の名称や建方の仕組みが身につく。 4.鋼構造の標準的なディテールの感覚が身につく。</p>			◎									4	3	5	435
専門科目	建築基礎構造	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建物を支える地盤についての基礎的な性質を理解し、直接基礎の地盤支持力が計算できる。 2.不同沈下の原因を理解し、直接基礎の沈下量の計算ができる。 3.直接基礎、杭基礎の種類、施工法等の概要を理解し、基礎の選定方法・設計の概要について理解できる。</p>			◎	○								4	3	6	436
専門科目	建築生産	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解野力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.建築産業の現状、建築生産の変遷、建物の維持保全、ライフサイクルコスト、耐久性診断など建設業が直面している諸問題を把握し、CM(Construction Management)などの新しい建築生産方式について理解できる。</p>					◎	◎						4	3	5	435
専門科目	フレッシュマンゼミナール	1年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.教員との交流を通して、自らのキャリアデザインができる。 2.教員の専門分野、研究内容等を理解できる。 3.友人との共同作業を行い、その成果をプレゼンテーションすることができる。</p>												2	1	1	211
専門科目	建築実験	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 体験的学習からの具体的な課題解決能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.材料実験では講義で学んだ材料の基本的性質や使用上の諸性質を確認できる。 2.環境実験では居住環境を評価する熱・音・光等の各要素を実際に測定しその物理的意味等を理解できる。</p>			◎	◎		◎	◎		◎			4	3	1	431
専門科目	技術英語	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザを身につける。イン能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.一般的な英語の読解・表現のための知識と建築に関連した文献理解を援助する知識を身につけ、さらに、各種の専門用語、文章の読解力を身につけることができる。</p>		○								○		4	3	1	431

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1				2				3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	卒業研究ゼミナール	3年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的理解能力を身につける。 専門家の良識に基づく建築生産に対する倫理観の理解能力を身につける。 体験的学習からの具体的な課題解決能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.技術者としての基礎的な倫理観を身につける。 2.これまで学んできた専門科目における基礎学力の再確認ができる。 3.卒業研究を行うために必要な論理的な思考能力、自己表現能力を体得できる。</p>		◎			◎					◎			4	3	2	432
専門科目	卒業研究	4年次	4単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】持続可能な社会を実現する総合的デザを身につける。イン能力を身につける。 実務設計に繋がるデザインプロセスにおける基礎的能力 建築の構法(仕組み)の理解と力学的構成能力を身につける。 安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。 地域社会や地域環境の改善に貢献できる正しい課題発見能力を身につける。 体験的学習からの具体的な課題解決能力を身につける。 自分で考え、挑戦し、工夫する、チャレンジ精神を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.調査・実験・解析・設計・制作等の作業の進め方が理解できる。 2.自ら課題を見つけ、その課題を解決することができる。 3.その研究成果をわかりやすく他者に伝えることができる。</p>	◎	○	◎	◎		○	○	○	◎	◎			5	4	3	543